

# 第 8 6 期 中 間 事 業 報 告

平 成 2 4 年 1 月 1 日 か ら

平 成 2 4 年 6 月 3 0 日 ま で



日 本 精 蠟 株 式 会 社

# 会 社 概 要

商 号 日本精蠟株式会社  
(NIPPON SEIRO CO., LTD.)

創 立 昭和26年2月10日

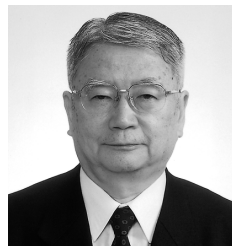
資 本 金 11億2千万円

主 要 な 営 業 品 目 パラフィンワックス、マイクロ  
クリスタリンワックス、合成ワ  
ックス等その他各種誘導品およ  
び重油

(徳山工場全景)



# 株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては平素より社業の発展に格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

ここに当社第86期中間事業報告（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）につきましてご報告申し上げます。

平成24年9月

日本精蠟株式会社

代表取締役社長 **吉田 泰邦**

(当社は連結対象会社がないため連結計算書類は作成しておりません)

## 中間事業報告 平成24年1月1日から 平成24年6月30日まで

### 1. 当社の現況に関する事項

#### (1) 事業の経過およびその成果

##### 1. 事業環境

当中間期（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）のわが国経済は、年初から東日本大震災の復興需要等により内需に持ち直しの動きが見え始めたものの、欧州の債務問題の長期化、中国をはじめとするアジア経済の成長鈍化、米国景気の回復の遅れ等により引続き先行き不透明な状況で推移しました。一方、原油相場は年初から高値圏で推移した後5月を境に下落に転じ、当中間期末には米国WTI原油が100ドル/バレル台から80ドル/バレル台へ、東南アジア産原油も130ドル/バレル台から90ドル/バレル台へそれぞれ急落しました。また、外国為替相場は年初の76円/ドルから円安が進行し一時83円/ドルをつけた後再び円高に転じ当中間期末には78円/ドル台で推移しました。

##### 2. 事業の経過および当期の経営方針等に基づく諸策の実施状況

このような状況の中で、当期経営方針およびIS09001の年度品質方針ならびに新中期経営計画NS2012（平成22年度～平成24年度）の基本方針に基づき、具体的諸施策の推進に取り組んできました。その進捗状況と結果は下記のとおりです。なお、2月2日に発生した徳山工場の減圧蒸留装置付近の出火事故により、当該装置の操業を停止しましたが、4月16日より順次運転を再開し通常の生産活動に復帰しました。

##### 1) 経営方針

- ① 原料多様化による新たなビジネスモデルに挑戦しつつ、予算必達を目指す。

既存原料の安定確保や新規代替原料の模索に加え、製品の高品質化・高機能化に対応した最適原料の確保等に取り組むとともに、年初からの原料高による採算悪化を是正するためワックス製品の価格改定を行いました。

- ② 徳山工場再生に注力するが、設備投資はキャッシュフローを留意しつつ実施する。

前期から着手した徳山工場再生のための設備の合理化・効率化・省エネ・環境整備等の更新・改修工事については、工場出火事故の復旧工事を優先させたため第3四半期以降から再着手の予定です。

- ③ 新基幹システムのスムーズな立上げを目指す。  
前期で新基幹システムへの移行作業を完了し、計画どおり本年1月から順調に稼働しております。
- ④ つくば事業所の採算化定着を引続き努力する。  
分子蒸留およびエマルジョンの両事業とも概ね計画どおりに進捗しております。
- ⑤ 内部統制システムの構築を通じて、業務の効率化、コンプライアンス、ISOの維持、適切なリスク管理を行う。  
リスク・コンプライアンス事項の見直しや各部門の内部監査をはじめISOの継続的改善を計画どおり実施するとともに、併せて金融商品取引法に定める財務報告に係る内部統制監査に基づく、業務・制度監査および内部統制監査を計画どおり実施しているところです。
- ⑥ 安全および環境に注意を払いつつ、製造・販売を通じて、コスト・収益意識を高める。  
今般発生した徳山工場の出火事故は人身事故や近隣住民および環境への影響はありませんでしたが、これを契機に再発防止策を徹底し、一層の安全操業の確保に取り組んでまいります。
- ⑦ 新たな新中期経営計画（NS2015）を策定する。  
策定に向けての準備をすすめており、第3四半期から本格的作業を開始する予定です。

## 2) ISO9001の年度品質方針

日本精蠟はワックスのスペシャリストとして、お客様のニーズに応え、安心してご使用いただける製品・サービスを提供し続けます。

- ① 品質マネジメントシステムの維持管理および継続的改善に努め、更なるお客様満足度の向上を図ります。
- ② 子会社に品質マネジメントシステムを導入することで、より高度な製品・サービスを提供できる体制を構築します。
- ③ 環境マネジメントシステムとの融合を図り、より確実なシステムづくりを目指します。

以上のISO9001の年度品質方針の取組みについては、その具体的行動指針および各部門の品質目標実施計画に基づき、四半期毎の活動状況の品質監査を実施する等継続的なマネジメントレビューを推進し、目標は概ね計画どおり進捗しました。

### 3) 新中期経営計画NS2012（平成22年度～平成24年度）の基本方針

- ① 原料と製品の多様化に対応する製造技術の検討を進め、合理的で機能的な製造体制の確立を図る。
- ② 研究開発を強化し、高機能製品による成長分野向け製品群の充実と拡充を推進する。
- ③ キャッシュフローと収益の管理を徹底し、長期安定配当と財務内容の改善に努める。
- ④ 開発品製造拠点としてのつくば事業所の本格稼働と更なる機能強化を図る。
- ⑤ ISOの活用、コンプライアンス、リスク管理の徹底を通じて、内部統制システムを確立する。
- ⑥ 地球環境との調和を尊重し、品質・環境マネジメントシステムを通じて環境負荷の低減を図る。

前述のとおり、本年度に予定する各課題とも計画どおりに進捗しております。また、本中期経営計画における平成24年度業績目標の売上高(30,400百万円)、経常利益(1,100百万円)、当期純利益(640百万円)、配当(年間9円)については、後述の「3. 当中間期事業概況と成果」をご参照ください。

### 3. 当中間期事業概況と成果

主力のワックス販売は出火事故による減産の影響に加え米国向け需要の低迷と海外市場における中国品の攻勢が響き前年同期に比較して販売数量では6,743トン減の31,395トン、販売高では812百万円減の8,117百万円の実績となりました。このうち、国内販売が販売数量では1,301トン減の18,073トン、販売高では105百万円増の5,749百万円となり、輸出販売が販売数量では5,442トン減の13,322トン、販売高では918百万円減の2,368百万円となりました。

一方、重油販売は火力発電用需要の堅調持続に加え減産分を仕入重油の販売で補った結果、前年同期に比較して販売数量では4,582キロリットル増の177,732キロリットル、販売高では1,813百万円増の12,606百万円の実績となりました。

これにより、当中間期の実績は、前年同期に比較して売上高ではその他商品を含めて1,050百万円増の20,815百万円、利益面では減産と原油価格急落による棚卸評価損273百万円等の影響により、営業損益で2,042百万円減の21百万円の損失、経常損益で2,066百万円減の144百万円の損失となりましたが、中間純損益では出火事故に係る保険金のうち利益保険金収入1,000百万円を特別利益に計上したことにより、639百万円減の498百万円の利益となりました。

なお、当中間期における中間配当は当初発表どおり1株につき5円といたしました。

#### 4. 当中間期事業概況のまとめ

生産および販売の状況は以下のとおりです。

##### <生産>

	前年中間期	当中間期	増 減
原料受入量 (kℓ)	262,538	177,529	△85,009
実処理量 (kℓ)	239,751	147,321	△92,431
ワックス (t)	36,041	27,979	△ 8,062
重油 (kℓ)	180,837	97,936	△82,901

##### <販売>

	前年中間期		当中間期		増 減	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
ワックス 国内	19,374	5,643	18,073	5,749	△1,301	105
輸出	18,764	3,286	13,322	2,368	△5,442	△ 918
合計	38,138	8,930	31,395	8,117	△6,743	△ 812
重油	173,149	10,792	177,732	12,606	4,582	1,813
その他仕入商品	42		91		49	

(注) 1. 国内販売には輸入合成ワックスを含んでおります。

2. ワックス数量単位はton、重油数量単位はkℓ、金額は百万円単位で記載していません。

#### (2) 主要な事業内容

当社はワックスの専門メーカーとして、石油ワックス、各種ワックスおよび重油の製造・加工・販売を主たる事業としております。

(主要な営業品目)

パラフィンワックス、マイクロクリスタリンワックス、合成ワックス等その他各種誘導品および重油

### (3) 主要な営業所および工場ならびに従業員の状況

#### 1. 主要な営業所および工場

本 社	東京都中央区京橋二丁目5番18号 京橋創生館10階 (平成24年7月2日付で新川一丁目22番15号より移転)
徳山工場	山口県周南市大字大島850番地
大阪支店	大阪府大阪市北区西天満二丁目6番8号 堂ビル7階
開発研究センター (分 室)	山口県周南市大字大島850番地 茨城県稲敷郡阿見町大字吉原3580-2
つくば事業所	茨城県稲敷郡阿見町大字吉原3580-2

#### 2. 従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
240名	4名増	39歳4ヶ月	17年5ヶ月

(注) 従業員数は、臨時社員と派遣社員および当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人数であります。

### (4) 主要な借入先および借入額

借 入 先	借 入 残 額
	百万円
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,155
株式会社広島銀行	3,148
株式会社みずほ銀行	3,149
株式会社山口銀行	2,614
株式会社西京銀行	1,560

### (5) 資金調達および設備投資の状況

#### 1. 資金調達の状況

設備資金および運転資金につきましては、自己資金および金融機関よりの借入金をもって充当し、増資、社債発行などによる資金調達は行っておりません。

#### 2. 設備投資の状況

当中間期に実施した設備投資の総額は369百万円であり、徳山工場関係では既存設備全般の更新および改修工事等で329百万円、つくば事業所関係では開発研究センター設備等で34百万円であります。



## (6) 財産および損益の状況

区 分	平成21年度 第83期	平成22年度 第84期	平成23年度 第85期	平成24年度 第86期	
売上高 (百万円)	中間 年間	10,410 26,176	16,463 32,648	19,765 37,003	20,815
経常利益 (△は経常損失) (百万円)	中間 年間	△1,643 △ 534	1,372 2,523	1,922 2,948	△144
純利益 (△は純損失) (百万円)	中間 年間	△ 973 △ 441	812 1,516	1,137 1,738	498
1株当たり純利益 (△は純損失)	中間 年間	△43円50銭 △19円70銭	36円30銭 69円64銭	56円13銭 85円76銭	24円60銭
総資産 (百万円)	中間 年間	27,339 29,132	27,479 27,343	29,560 31,443	32,969
純資産 (百万円)	中間 年間	7,742 8,316	9,006 9,117	10,111 11,027	11,319

## (7) 重要な親会社および子会社の状況

該当事項はありません。

## (8) 対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、引続き欧州の債務問題、中国をはじめアジア圏の成長減速、米国景気の回復遅れ等の懸念に加え、原油相場や為替相場の動向等引続き不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中で、今回の事故を踏まえ「安全操業の確保」の一層の徹底を図るとともに、引続き効率生産、採算販売、コスト低減等の取組みを基本に売上高の拡大と収益の改善に注力し、併せて最終年度を迎えた中期経営計画および経営方針に掲げる「原料の多様化や高価格化に対応した製販体制の確立」をはじめとする経営諸課題に引続き取り組んでまいります。

通期の業績見通しにつきましては、不確定な要素が多いため平成24年2月14日に公表いたしました業績予想は現時点では変更ありません。今後火災保険金を含め最終的な損害保険金収入が確定した時点で改めて想定を見直したうえで修正する予定です。

株主の皆様におかれましては、諸事情ご賢察のうえ引続き変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## (9) その他株式会社の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 会社の状況に関する事項

### (1) 取締役および監査役に関する事項

#### 1. 取締役および監査役（平成24年7月1日現在）

氏名	地位および担当	重要な兼職の状況
*渡 口 勝 彦	代表取締役会長	
*吉 田 泰 邦	代表取締役社長	
*井 上 寛	専務取締役 総務部・経理部・企画管理部管掌	
*齊 藤 俊 雄	専務取締役 製造部・環境工務部・技術部管掌 兼 つくば事業所長	
*西 田 重 信	専務取締役 国際部・品質管理部・業務部管掌	
*東 照 二	常務取締役 販売開発部・開発研究センター管掌	
*細 田 八 朗	取締役 総務部長 兼 企画管理部長 兼 経理部長	
*関 谷 正	取締役 販売開発部長	
*安 藤 司	取締役 国際部長	
*福 間 芳 彦	取締役 徳山工場長 兼 製造部長	
*花 崎 学	取締役 徳山副工場長 兼 環境工務部長	
秋 山 義 一	常勤監査役	
新井田 勝 雄	常勤監査役 社外監査役	
田 澤 繁	社外監査役	弁護士

- (注) 1. 当社は執行役員制度を導入しており、\*印の各氏は執行役員を兼務しております。
2. 監査役の新井田勝雄および田澤 繁の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。また、監査役の田澤 繁氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届出ております。
3. 当社と田澤 繁氏がパートナーとして兼職する柏木・田澤法律事務所との間に重要な取引関係はありません。
4. 監査役の秋山義一氏は監査役就任まで当社の経理部長職にあり、また監査役の新井田勝雄氏は他の会社の財務・会計を担当する役員経験があり、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。監査役の田澤 繁氏は、弁護士として企業法務に精通しております。
5. 取締役以外の執行役員は、次のとおりであります。
- 執行役員 山本 益司（品質管理部長）  
執行役員 曾根 一人（技術部長）

## 2. 取締役および監査役の報酬等の額

定時株主総会決議に基づく取締役の年額報酬は270百万円以内、監査役の年額報酬は36百万円以内であります。

## 3. 当中間期中の取締役および監査役の異動

平成24年3月29日開催の定時株主総会において取締役に福間芳彦（旧・当社徳山工場長補佐兼製造部長）が就任いたしました。

## 4. 前各号に掲げるもののほか役員に関する重要な事項

該当事項はありません。

## (2) 株式に関する事項（平成24年6月30日現在）

### 1. 株式の状況

- |               |                                    |
|---------------|------------------------------------|
| ① 発行可能株式総数    | 89,600,000株                        |
| ② 発行済株式総数     | 22,400,000株<br>(自己株式2,126,911株を含む) |
| ③ 当期中に増加した株式数 | 該当事項はありません。                        |
| ④ 株主数         | 2,436名                             |

### 2. 大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（％）
株式会社エー・ティ・エス	4,208	20.76
三菱商事株式会社	1,120	5.52
神田成二	660	3.25
三菱UFJ信託銀行株式会社	550	2.71
株式会社西京銀行	513	2.53
山九株式会社	450	2.21
株式会社ケイ・エンタープライズ	350	1.72
安藤パラケミー株式会社	310	1.52
徳機株式会社	300	1.47
株式会社広島銀行	290	1.43
計	8,752	43.17

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

2. 当社は、自己株式2,126,911株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

3. その他株式に関する重要な事項  
該当事項はありません。

- (3) 新株予約権等に関する事項  
該当事項はありません。

- (4) 会計監査人に関する事項

1. 会計監査人の名称  
新日本有限責任監査法人
2. その他子会社を含む監査に関する事項  
該当事項はありません。

3. 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

当社では、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合には、監査役全員の合意に基づき監査役会が、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

# 中間貸借対照表

平成24年6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
	百万円		百万円
<b>流 動 資 産</b>	<b>18,065</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>15,642</b>
現金及び預金	1,560	支払手形及び買掛金	1,105
受取手形及び売掛金	6,339	短期借入金	11,606
商品及び製品	5,451	未払金	1,456
原材料及び貯蔵品	3,526	未払法人税等	347
前払費用	88	預り金	460
繰延税金資産	183	賞与引当金	40
その他	921	修繕引当金	25
貸倒引当金	△ 6	設備関係支払手形	58
<b>固 定 資 産</b>	<b>14,903</b>	その他	543
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>14,124</b>	<b>固 定 負 債</b>	<b>6,007</b>
建物	860	長期借入金	2,488
構築物	890	リース債務	47
機械及び装置	2,525	再評価に係る繰延税金負債	3,053
土地	9,343	退職給付引当金	230
建設仮勘定	147	その他	187
その他	356	<b>負 債 合 計</b>	<b>21,650</b>
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>311</b>	<b>純 資 産 の 部</b>	
投資その他の資産	467	<b>株 主 資 本</b>	<b>5,780</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>32,969</b>	資本金	1,120
		資本剰余金	14
		利益剰余金	5,179
		自己株式	△ 532
		評価・換算差額等	5,538
		その他有価証券評価差額金	△ 28
		土地再評価差額金	5,566
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>11,319</b>
		<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>32,969</b>

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

# 中間損益計算書

平成24年1月1日から  
平成24年6月30日まで

	百万円	
売 上 高		20,815
売 上 原 価		19,674
売 上 総 利 益		1,141
販売費及び一般管理費		1,162
営 業 損 失		21
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	0	
受 取 配 当 金	4	
受 取 賃 貸 料	102	
そ の 他	34	142
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	119	
為 替 差 損	32	
固 定 資 産 賃 貸 費 用	98	
そ の 他	16	265
経 常 損 失		144
特 別 利 益		
受 取 保 険 金	1,000	1,000
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	15	15
税引前中間純利益		840
法 人 税 等		341
中 間 純 利 益		498

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

# 株 主 メ モ

事業年度 1月1日～12月31日  
期末配当金受領株主確定日 12月31日  
中間配当金受領株主確定日 6月30日  
定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所  
公告の方法 電子公告により行う。  
公告掲載URL <http://www.seiro.co.jp>  
(ただし、電子公告によることができない事故、  
その他のやむを得ない事由が生じたときは、日  
本経済新聞に公告いたします。)

## (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

本 社 〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目5番18号  
電話 (03) 3538-3061 (代表)

徳 山 工 場 〒745-0803 山口県周南市大字大島850番地  
電話 (0834) 84-0334 (代表)

大 阪 支 店 〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満二丁目6番8号  
電話 (06) 6365-5685 (代表)

開発研究センター 〒745-0803 山口県周南市大字大島850番地  
電話 (0834) 84-0339 (代表)

(分 室) 〒300-1155 茨城県稲敷郡阿見町大字吉原3580-2  
電話 (029) 829-5050 (代表)

つ く ば 事 業 所 〒300-1155 茨城県稲敷郡阿見町大字吉原3580-2  
電話 (029) 829-5050 (代表)

当社ホームページアドレス  
<http://www.seiro.co.jp>

## 【株式に関するお手続きについて】

### ○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別口座から一般口座への振替請求</li> <li>○単元未満株式の買取請求</li> <li>○住所・氏名等のご変更</li> <li>○特別口座の残高照会</li> <li>○配当金の受領方法の指定（＊）</li> </ul>	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>		株主名簿管理人

（＊） 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

### ○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○郵送物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○支払期間経過後の配当金に関するご照会</li> <li>○株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
<ul style="list-style-type: none"> <li>○上記以外のお手続き、ご照会等</li> </ul>		口座を開設されている証券会社等にお問合せください。